

山行計画

箱根三国山 1月26日(日) (佐藤文)

詳細は後日

12月日帰り山行

1月6日の集会で各自が山行希望の山を持ち寄り決定する

山行報告

北八ヶ岳 9月24日(日) 夜行～26日(火)

参加者：吉田、鈴木、一之瀬、武石、野間、前島、瀧
(7名) (記録・写真：吉田)

集合：22:40 京急横浜駅ホーム

コースタイム：24日 八ヶ岳山荘 5:50－堰堤広場 7:44－
赤岳鉱泉 8:50－赤岩の頭 11:00 (昼食)－硫黄岳 12:11－
夏沢峠 12:50－根石岳 13:54－東天狗岳 14:30－黒百合ヒュッ
テ 15:46

25日 黒百合ヒュッテ－高見石 7:44－麦草峠 9:10－中木場
10:07－茶臼山 10:53－縞枯山 11:56－ロープウェイ山頂駅
12:36－坪庭一周－ロープウェイ山頂駅

昔の話になりますが、半世紀近く前には新宿駅のアルプス広場は週末ともなると、中央本線の夜行列車の自由席に乗るための整列場所になっていて列車名を書いた立て札の後ろには山に憧れる若者たちの長蛇の列ができていました。

塩山駅では大菩薩、西沢溪谷、乾徳山へ、甲府駅は南アルプスへ、小淵沢・茅野駅は八ヶ岳へ、残り的人達は中央北アルプスへと向かって行きました。

なかでも夜行日帰りで手軽にアルペン的な登山が出来るという大いに人気があったのが上越線の谷川岳と中央線の八ヶ岳でした。

車社会の到来につれて夜行列車もなくなり、八ヶ岳には縁遠くなってしまいましたが、今回の山行は会で八ヶ岳を南北に縦走する計画の三回目です。

昔の山行を思いだしたり、八ヶ岳の良さを再認識したりと楽しい山歩きを満喫することが出来た二日間でした。

仮眠後に朝食を取ってから八ヶ岳山荘をあとにする。

美濃戸山荘の手前に「やまのこ村」という建物があり、そのたたずまいから昔は小松山荘という名で営業していた、下山祝に何度も名物の凍りついた野沢菜でビールを飲

んだ所だったとなつかしく思い出されました。

北沢の清冽な流れに沿いゆるやかな登りを続けると赤岳鉱泉に着き、ここで水を補給する。

一昨年はここから赤岩ノ頭までけっこう汗をかいたが今回は湿度が低いせいか快適だ。

赤岳鉱泉手前から鈴木さんが体調不良となり、様子を見ながら赤岩ノ頭まで頑張ったが、これからの行程を考えると無理ということになり、昼食後に荷を軽くして一人でゆっくり下山して今日は休養のため赤岳鉱泉泊まりとし、明日下山することになった。

鈴木さんを見送り、硫黄岳へと登る。頂上は風もなく南北の八ヶ岳の山々が見渡せました。



硫黄岳山頂



硫黄岳爆裂火口



硫黄岳から夏沢峠への下り

夏沢峠までは前方に天狗岳を望みながら気持ちの良い下りである、

峠にあるヒュッテ夏沢は通常は営業してなくて学校などの集団登山に利用され100名以上で貸切可という。

ここで武石さんが黒百合ヒュッテに一名減った旨連絡。箕冠山(みかぶりやま)まではずっと樹林の道だが根石岳が見える所まで来ると風が強くなり吹き抜けそうな地形に変わる。

本沢温泉から上がってくる白砂新道の分岐を通過、名前のとおり地面が白い。

今日最後の登りを頑張り、東天狗岳頂上についた。岩だらけの頂上からの眺めは360度ですばらしい。あと1時間ほどに近づいた黒百合ヒュッテも見える。鈴木さんが持参していたパインを山頂で御馳走になる。



東天狗岳からの下り、左前方奥に黒百合ヒュッテ

上の写真の尾根を下った所で道が二つに分かれ、右の中山峠を經由する道を選んだがこれが難路で樹林の中に大きな岩が累々とした道がいやになるほど続きうんざりした。

中山峠を過ぎると木道になりすぐに黒百合ヒュッテに到着。16時前に到着することが出来ました。

下の新聞記事にあるように4日前に皇太子さまが黒百合ヒュッテに宿泊されたので床、畳、布団などが新調されなかでもトイレは驚くほど立派になっていました。

千円増して個室もあるようだが、2階の大部屋で就寝。皇太子さまは、21日、長野県の八ヶ岳連峰の天狗岳に登り、北アルプスなどの雄大な風景を楽しまれました。

20日、長野県茅野市の登山口から八ヶ岳連峰に入り、山小屋で1泊したあと、21日午前8時半すぎ、標高2646メートルの天狗岳の山頂に到着されました。

天狗岳は、八ヶ岳連峰の北部で最も標高が高く、神秘的な森林が広がるなだらかな山道と、本格的な登山のできる険しい岩場を併せ持つ山として知られています。

皇太子さまは、これまでに2度、八ヶ岳連峰を登っていますが、いずれも南部の山々で、以前から北部にある天狗岳について「登ってみたい」と話されていました

天狗岳は過去二度は悪天候で断念されていたそうで三度目に登頂されたようです。

山小屋は遠くからでも分かりやすいように赤などの目立つ色が普通だが1956年に建てられた黒百合ヒュッ



黒百合ヒュッテ

テは黒百合の色をイメージしているのか黒塗りなのが面白い。5時半に朝食で6時に出発、昨日通った中山峠まで戻り、静かなシラビソの森を進む、振り返ると天狗岳がすごく立派に見える



東天狗岳・西天狗岳 左後方は硫黄岳

高見石と丸山を通過して開放感のある明るい麦草峠(2127m)に飛び出す。

車道が登山道を横切り登山者には興ざめだが、ここは国道の峠としては日本で2番目に高い所で、景観の良さからメルヘン街道と呼ばれているそうである。

縞枯模様を見せる茶臼山と縞枯山は樹林におおわれてどっしりと横たわっている感じを受ける。

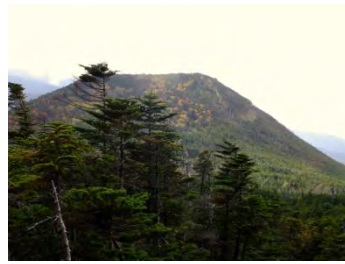
茶臼山の上部は道の両側は苔で覆われた直線的な道でかなりの急登でした。

縞枯山の登りから茶臼山を望むと頂稜部が平で名前の通りの臼のように見えたのが印象的でした。

展望のない縞枯山山頂で昼食をすまして下山を開始。最初は急な下りだが縞枯山荘の手前からは歩きやすい

木道がロープウェイ駅まで続いていました。

時間があるので溶岩台地の坪庭を一周してからロープウェイに乗り込み、バスで茅野駅へと向かいました。



シラビノの林

茶臼山を振り返る

山口耀久著「北八ツ彷徨—随想八ヶ岳」の一節に「南八ヶ岳を動的な山だとすれば、北八ヶ岳は静的な山である。前者を情熱的な山だといえ、後者は瞑想的な山だといえよう。北八ヶ岳には、鋭角の頂稜に行く、あのあらあらしい興奮と緊張はない。原始のにおいのする樹海のひろがり、森にかこまれた自然の庭のような小さな草原、針葉樹に被われたまぶしい頂きや、そこだけ岩塊を露出している明るい頂き、山の斜面にできた天然の水たまりのような湖、そうしてその中におもっているいくつかの伝説、それが北八ヶ岳だ」とあるように久しぶりに北八ヶ岳を歩いてみて森の精にふれたような気分になる苔に覆われた黒木の森と火山活動がつくりだした途方もない岩の多さに自然の偉大さを感じる事が出来た山行でした。

秋の平日ということもあり北八ヶ岳にふさわしい静かな山が堪能できました。

計画・予約をして頂いた武石さん、同行の皆さんお世話になりました。体調を崩されて赤岳山荘のステーキだけで下山した鈴木さんの無念さが心に残りました。

忘年会（幹事 前田）

日時：12月4日（月）18：30～

会費 5400円

場所：中華街 龍華楼（昨年と同じ）

045-641-7088 山下町139番地

待合せ：18：15 石川町駅北口 徒歩7分

参加者：吉田、前田、鈴木、佐藤文、高橋泰、武石、三浦野間、瀧、角田（10月23日現在）

来年度年会費

現会員：6000円

10月23日の集会で検討した結果、前年と同額に決定。

納入期限は年内となっていますので在会希望者は会計の

瀧、三浦さんに納めて下さい。

忘年会のときの支払いはアルコールも入りますので出来るだけ避けて下さい。

集会記録：一之瀬 10月6日（金）18：00～20：00

出席者：吉田、前田、鈴木、加賀屋、佐藤文、高橋泰

一之瀬、武石、野間、瀧、星野、角田

1. 山行報告

① 丹沢三峰 9月23日（土）～24日（日）（前田）

大倉から1時間登り、テント設営。ヒルに襲われた。1：30出発。丹沢山、6：00着。山頂付近は霧。宮ヶ瀬方面に下山。出会った人は3人。登山道も崩れていて、あまり使われていないようだった。12：00頃、宮ヶ瀬に着いた。厚木に出て、渋沢から大倉に戻り、テントを回収して戻った。人が少なく、静かな山歩きができた。

② 北八ヶ岳 9月24日（日）～26日（火）（一之瀬）

八ヶ岳山荘で仮眠。5：50出発。北沢コースに沿って登る。12：05硫黄岳山頂。爆裂火口が凄い。前回と反対方面に進む。12：50夏沢峠。根石岳手前に、コマクサの保護地があった。根石岳から登り返し、岩場を登って、東天狗岳の山頂に着いた。岩場を下り、中山峠に出る。15：45黒百合ヒュッテに着いた。皇太子が来たことで、山荘はきれいになっていた。

26日 6：05黒百合ヒュッテ出発。高見石小屋から丸山を通って、9：05麦草峠に着いた。大石峠で道を間違え、少し時間をロスした。茶臼山への登りは直登できつかった。11：05縞枯山で昼食を摂り、13：00頃、山頂駅に着いた。ロープウェイで下り、バスで茅野駅に向かった。茅野駅からはあずさで戻った。

③ 金時山 9月30日（土）（佐藤文）

湯本からアウトレット行きのバスに乗り、乙女峠から登った。山頂は混んでいた。若い人が多かった。仙石原に下りるコースで下山した。帰りは温泉に入り、ゆっくり下りてきた。

④ 木曾駒が岳・宝剣岳 10月4日～5日（前田）

6：00東戸塚出発。10時頃菅の台バスセンター。松本からの組と合流した。シラビ平からロープウェイで千畳敷へ。空の碧さが凄かった。乗越浄土まで1時間位登った。木曾駒の頂上と巻道の二手に分かれた。到着は遅れたが、頂上木曾小屋で、日没の絶

景を見ることができた。

5日、木曾駒の山頂で写真を撮る組と巻き道を通って乗越浄土へ行く組に分かれて出発。宝剣荘に集まり、千畳敷に下りた。ロープウェイで下山。横浜と松本に帰る組に分かれ、車で帰る。二日間、天気に恵まれ、OBと良い山行ができた。

⑤ 劔岳北方稜線 10月9日～13日 (前田)

新宿から夜行バスで、黒部ICに5時頃着いた。トロッコで、樺平へ。ここから歩き、阿曾原温泉テント場に、テント設営。11日、仙人ダムから池の平テント場へ。12日、テント場から小窓、緩やかな雪渓を登り、三の窓、ロープで確保し、傾斜のきつい雪渓を登る。ガレ場を通過し、劔岳を越えた。別山尾根に泊まり、室堂から戻った。

2. 山行計画

① 玄倉～ユースン溪谷～塔の岳～大倉 (吉田)

- ・ 10月29日(日)実施
- ・ ロングコース、大倉着は、18時過ぎになる。
- ・ バスに乗車して待っている。

3. その他

① 忘年会

日時：12月4日(月) 18:30 石川町駅 18:15

場所：龍華楼

集会記録：吉田 10月23日(月) 18:00～20:00

出席者：吉田、前田、鈴木、佐藤文、高橋泰、武石、三浦野間、瀧、角田

1. 山行報告

北方稜線 10月9日(月)～12日(木)

参加者；前田、(田代)

9日夜新宿駅から3列シートのバスで出発、5時に黒部インターで下車して富山地方鉄道の駅まで歩き、宇奈月温泉駅からトロッコ電車で樺平まで行く。

屋根のない車両に乗ったので寒かった。

阿曾原温泉まで黒部川沿いの道は新しい鉄線が張られていた。テントを張って男女入れ替えの露天風呂に入浴。

天気が良くないので計画を変更して旧日電歩道を黒四ダムまで歩き、扇沢に出る。溪谷がすばらしい。

大町温泉で入浴してから帰宅。

2. 山行計画

1 1月26日(日) 三国山(箱根) 佐藤文
計画の詳細は後日

1 2月の日帰り山行は1 1月6日の集会で各自の案を持ち寄って検討する

3. 来年度の会費を6000円に決定しました。

集会日 場所 県民サポートセンタ

1 1月6日(月) 603号室 18:00～20:00

1 1月20日(月) 602号室 18:00～20:00

1 2月18日(月) 603号室 18:00～20:00

1 月8日(月) 601号室 18:00～20:00

1 月22日(月) 601号室 18:00～20:00

2 月5日(月) 603号室 18:00～20:00

2 月19日(月) 602号室 18:00～20:00

3 月5日(月) 601号室 18:00～20:00

3 月19日(月) 601号室 18:00～20:00